

シカジーニアス® トータルDNAプレップキット (組織用)

実験を行う前に…


- ・初回使用時に規定量のエタノールを③Buffer BW と④Buffer TW に加えて下さい。
- ・初回使用時に規定量の⑦Storage Bufferを⑥Proteinase Kに加えて下さい。添加後のProteinaseK溶液は4℃以下で保存して下さい。
- ・①Buffer CL と②Buffer BL に沈殿が生じた場合には、56℃でインキュベートし、沈殿をよく溶かしてからご使用下さい。

サンプルの準備：取扱説明書に記載された方法にて、サンプルの前処理を行って下さい。

操作方法

細胞培養液の場合

溶解



- 1) Proteinase K溶液：20 μ L
- 2) サンプル：200 μ L
- 3) ②Buffer BL：200 μ L
攪拌・懸濁 (ボルテックス)

↓

インキュベート 56℃、10分

↓


- 4) エタノール：200 μ L
攪拌・懸濁 (ボルテックス)

↓

スピンドウン


結合

5) SV Column type Gに移す



洗浄


6) 遠心 6,000 \times g, 室温, 1分間



- 新しいコレクションチューブにセット
- ← 7) ③Buffer BW：600 μ L

↓

遠心 6,000 \times g, 室温, 1分間



- 新しいコレクションチューブにセット
- ← 8) ④Buffer TW：700 μ L

↓

遠心 6,000 \times g, 室温, 1分間


ろ液を捨てカラムを再セット

↓

溶出

9) 遠心 13,000 \times g以上, 室温, 1分間

1.5 mLチューブにカラムをセット



- ← 10) ⑤Buffer AE：200 μ L (もしくは滅菌水)

静置 室温, 1分間


↓

11) 遠心 13,000 \times g以上, 室温, 1分間

DNA溶液

組織サンプルの場合

溶解



- 1) 処理後サンプル
- ①Buffer CL：200 μ L
- 2) Proteinase K溶液：20 μ L
攪拌・懸濁 (ボルテックス)

↓

インキュベート 56℃、サンプルが溶解するまで

↓

- 3) ②Buffer BL：200 μ L
攪拌 (ボルテックス)

↓

インキュベート 70℃、10分間

↓

遠心 6,000 \times g, 室温, フラッシュ

↓


- 4) エタノール：200 μ L
攪拌 (ボルテックス)

↓

スピンドウン


結合

5) SV Column type Gに移す



洗浄


6) 遠心 6,000 \times g, 室温, 1分間



- 新しいコレクションチューブにセット
- ← 7) ③Buffer BW：600 μ L

↓

遠心 6,000 \times g, 室温, 1分間



- 新しいコレクションチューブにセット
- ← 8) ④Buffer TW：700 μ L

↓

遠心 6,000 \times g, 室温, 1分間


ろ液を捨てカラムを再セット

↓

溶出

9) 遠心 13,000 \times g以上, 室温, 1分間

1.5 mLチューブにカラムをセット



- ← 10) ⑤Buffer AE：200 μ L (もしくは滅菌水)

静置 室温, 1分間

↓

11) 遠心 13,000 \times g以上, 室温, 1分間

DNA溶液